

1. 発行作業グループ:	2. アラート番号:																
作業グループ: 統合グローバル品質要求事項測定法 (IGQ) 連絡先: contact@questforum.org	08-004A																
3. 影響を受ける文書:	4. 発行日:																
品質マネジメントシステム測定法ハンドブック R4.0	2008 年 4 月 25 日																
5. アラート発行理由:																	
測定法ハンドブック R4.0 の表 6.2-4 における誤記の報告																	
6. 説明:																	
<p>TL 9000 品質マネジメントシステム測定法ハンドブック R4.0 では、6-10 ページの表 6.2-4 に誤記がある。ご存知の通り、SONE 測定値の範囲は、R4.0 では全体停止と部分停止が別々の測定値ではなく、一つに結合するように変更された。全ての原文 (text) と事例は統合した測定値を文書化し更新された。しかし、表 6.2-4 は部分停止部分を含む (算入する) には展開されなかった。これは見落としであった。</p>																	
<p>現行のR4.0表6.2-4 (誤):</p>																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>識別子</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MeasurementID</td> <td>SONE</td> </tr> <tr> <td>NEOa</td> <td>年次換算係数</td> </tr> <tr> <td>NEOs</td> <td><math>N_m</math> (規準化単位) - ネットワークエレメント数</td> </tr> <tr> <td>NEOec</td> <td>顧客起因の停止 - <math>T_m</math></td> </tr> <tr> <td>NEOdc</td> <td>顧客起因による分単位の重み付けされた停止の継続時間 - <math>TD_m</math></td> </tr> <tr> <td>NEOep</td> <td>製品起因の停止 - <math>T_m</math></td> </tr> <tr> <td>NEOdp</td> <td>製品起因による分単位の重み付けされた停止の継続時間 - <math>TD_m</math></td> </tr> </tbody> </table>		識別子	値	MeasurementID	SONE	NEOa	年次換算係数	NEOs	$N_m$ (規準化単位) - ネットワークエレメント数	NEOec	顧客起因の停止 - $T_m$	NEOdc	顧客起因による分単位の重み付けされた停止の継続時間 - $TD_m$	NEOep	製品起因の停止 - $T_m$	NEOdp	製品起因による分単位の重み付けされた停止の継続時間 - $TD_m$
識別子	値																
MeasurementID	SONE																
NEOa	年次換算係数																
NEOs	$N_m$ (規準化単位) - ネットワークエレメント数																
NEOec	顧客起因の停止 - $T_m$																
NEOdc	顧客起因による分単位の重み付けされた停止の継続時間 - $TD_m$																
NEOep	製品起因の停止 - $T_m$																
NEOdp	製品起因による分単位の重み付けされた停止の継続時間 - $TD_m$																
<p>訂正すべき表 (正):</p>																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>識別子</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MeasurementID</td> <td>SONE</td> </tr> <tr> <td>NEOa</td> <td>年次換算係数</td> </tr> <tr> <td>NEOs</td> <td><math>N_m</math> (規準化単位) - ネットワークエレメント数</td> </tr> <tr> <td>NEOec</td> <td>顧客起因の停止 - <math>T_m + P_m</math></td> </tr> <tr> <td>NEOdc</td> <td>顧客起因による分単位の重み付けされた停止の継続時間 - <math>TD_m + PD_m</math></td> </tr> <tr> <td>NEOep</td> <td>製品起因の停止 - <math>T_m + P_m</math></td> </tr> <tr> <td>NEOdp</td> <td>製品起因による分単位の重み付けされた停止の継続時間 - <math>TD_m + PD_m</math></td> </tr> </tbody> </table>		識別子	値	MeasurementID	SONE	NEOa	年次換算係数	NEOs	$N_m$ (規準化単位) - ネットワークエレメント数	NEOec	顧客起因の停止 - $T_m + P_m$	NEOdc	顧客起因による分単位の重み付けされた停止の継続時間 - $TD_m + PD_m$	NEOep	製品起因の停止 - $T_m + P_m$	NEOdp	製品起因による分単位の重み付けされた停止の継続時間 - $TD_m + PD_m$
識別子	値																
MeasurementID	SONE																
NEOa	年次換算係数																
NEOs	$N_m$ (規準化単位) - ネットワークエレメント数																
NEOec	顧客起因の停止 - $T_m + P_m$																
NEOdc	顧客起因による分単位の重み付けされた停止の継続時間 - $TD_m + PD_m$																
NEOep	製品起因の停止 - $T_m + P_m$																
NEOdp	製品起因による分単位の重み付けされた停止の継続時間 - $TD_m + PD_m$																
<p>前にも述べたように、全体停止及び部分停止を共通の測定法に統合することを示すため、6.2 項の全ての用語表現を修正した。</p> <p>ウェブサイトの例では統合されたデータを示している。この変更は R4.0 のトレーニング資料でも十分にカバーされており、この表の誤りが、提出したデータに影響を与えた兆候はなかった。</p> <p>この表を入力として使用した可能性のある全てのローカル手順は更新をお願いします。この誤りにより生じた全ての混乱に対し謝罪する。</p>																	
7. 補足説明:																	
<p>表 6.2-4 は測定法ハンドブックの次のリリースの中で訂正される予定である。</p> <p>訳注: 品質マネジメントシステム測定法ハンドブック R4.0 の和訳版は、原文誤記を修正している。</p>																	